

4. これまでの取組内容と進捗状況

- 減災対策における取組の実施状況(5カ年の取組)
- 流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

(1) 1級水系流域治水プロジェクトに基づく 各種対策のフォローアップについて

※各構成員にて今年度実施いただいた取り組み内容及び次年度以降の取り組み内容の御報告と各種対策の代表事例をご紹介します。

空知川地域部会

- ・芦別市、赤平市、富良野市
上富良野町、中富良野町、南富良野町
- ・札幌管区气象台
- ・旭川地方气象台
- ・空知森林管理署
- ・北海道水源林整備事務所
- ・空知総合振興局
- ・上川総合振興局
- ・札幌開発建設部

芦別市、赤平市、富良野市
上富良野町、中富良野町、南富良野町

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：芦別市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	住民等を対象とした防災意識の啓発	

■令和7年度 取組内容

○防災講話

- ・ 4月15日 芦別地区栄養士会（備蓄計画、備蓄品等について）
- ・ 6月15日 中央町内会（避難所開設時に町内会が果たす役割、避難所資材等の作成）
- ・ 7月26日 芦別JCイベント（避難所資材等の作成体験等を協力）
- ・ 8月1日 みんなで介護を考える会（災害図上訓練）
- ・ 9月8日 三角山町内会（災害に備えて）
- ・ 9月16日 社会福祉法人 愛和福祉会 星の広場（災害対策と日頃の備え）
- ・ 10月8日 社会福祉法人 愛和福祉会 きらり（災害対策）
- ・ 11月14日 新城町町内会（避難所資機材の体験等）

○一日防災学校

- ・ 9月4日 上芦別小学校（防災かるた、新聞紙スリッパ、段ボールベッド等作成体験）
- ・ 11月19日 芦別小学校（防災かるた、新聞紙スリッパ、マイタイムライン等作成体験）

○防災訓練

- ・ 8月5日 芦別市災害対策本部要員（道庁に講話を依頼：住民を守るために）
- ・ 8月28日 令和7年度芦別市防災訓練

次年度に向けた予定

- 町内会等からの依頼の機会を活用し、防災意識等の普及を継続
- 学校教育の場を通じ、防災教育の普及を継続
- 防災訓練を通じ、災害に対する気構えや避難行動、避難所開設等を行い理解促進を継続

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式



三角山町内会



新城町町内会



上芦別小学校



芦別小学校

【防災訓練】



「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	様々な世代の市民にとって災害に備える大切さを知ると共に避難時の手順などを学びながらの訓練参加となった。	

実施主体：赤平市

令和7年度 取組内容

- ・今年度は幌岡・共和・住吉地区を対象に防災訓練を実施。（風水害想定）避難訓練等を通して、市民への防災等に関する普及啓蒙を図った。
- ・一日防災学校は市内小学校で実施。警察・消防機関からの協力等で児童に対し、訓練の実体験を通して災害に備える大切さを伝えた。

実施内容

赤平市総合防災訓練(8/23実施)
(市民及び市職員等関係者 125名参加)



実施内容

一日防災学校(8/28)
(段ボールベッド組立体験) (防災カルタ)



次年度も引き続き、市民に災害に備える大切さを伝えていく。防災訓練や出前講座、一日防災学校の機会等においても取組を模索すると共に、風水害等による災害からの被害軽減に繋がるよう取り組んでいきたい。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	(避難経路等を基本) 避難所への移動等を確認すると共に会議の要望に基づき、(防災行政無線) 戸別受信機貸出の拡大取り組みを始め、緊急時の情報伝達手段の確保を図っている。	

実施主体：赤平市

■令和7年度 取組内容

- 一部地区の要望により、防災行政無線で使用の戸別受信機貸出に係る希望調査の実施を行い、情報伝達手段の確保を通して、風水害や土砂災害等からの避難等対策確保の一環を図っている。

実施内容

(希望地区)町内会長会議(11/6)
避難経路見直し等の話し合いから、戸別受信機貸出希望を受け実施に至る。



次年度においても発災時における市民の情報伝達手段を確保するため、標記の取組を継続するとともに、新たな取り組みを模索していく。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：富良野市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	各種資機材に係る配置確認や継続した整備合わせて、土嚢作成訓練の継続	

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、継続実施している発電機、排水ポンプなどの配置計画について再確認及び資機材の機能点検や堤内排水路の継続的な整備を実施しつつ、土嚢作成訓練を継続し「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」の推進を図った。



次年度に向けた予定 など

- ・ 発電機、排水ポンプなどの配置計画について再確認及び資機材の機能点検
- ・ 堤内排水路の継続的な整備
- ・ 土嚢作成訓練の継続
- ・ 田んぼダムに関する取組みの継続 など

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：富良野市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	風水害対応タイムラインの確認	

令和7年度 取組内容

・令和7年度「富良野市防災訓練」を実施して災害時における指揮・対処能力の向上及び地域住民の避難行動を訓練し、災害対処能力の向上をい図るとともに、地域住民に対して6回の出前講座を実施して風水害に関わる講話を実施するとともに、7校の小・中学校の生徒を対象とした一日防災学校を支援して防災意識の高揚を啓発

実施内容



実施内容



次年度においても、風水害に係る被害軽減の一環として、出前講座の実施及び一日防災学校を支援して防災講話等により防災意識の啓発を図るとともに、R7富良野市防災訓練を実施して災害対処能力の向上を図る。

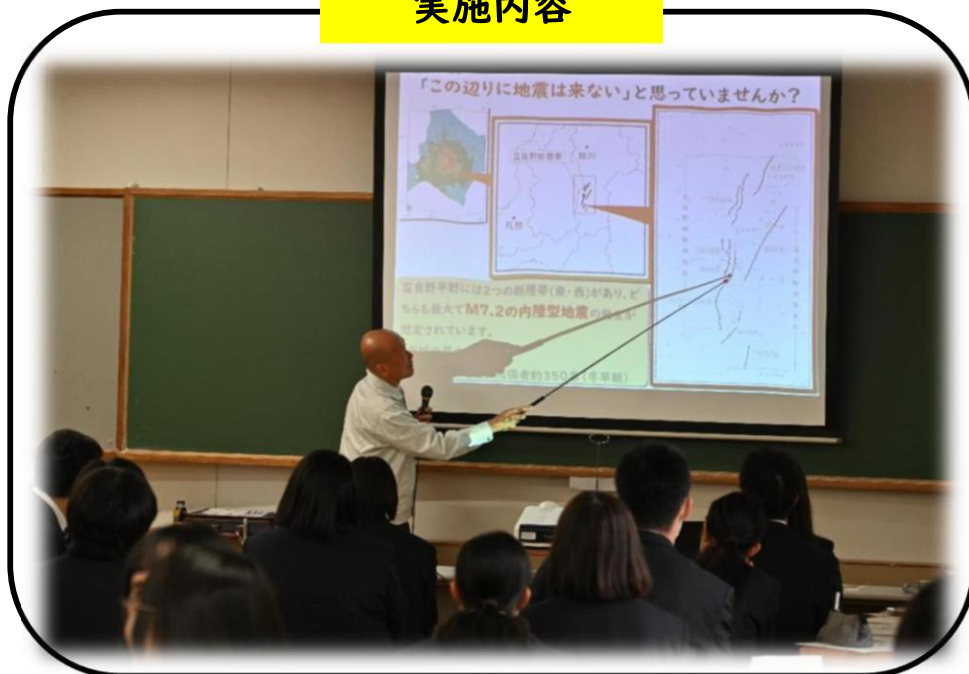
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について	実施主体：富良野市
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	
対策内容	風水害対応タイムラインの確認		

■令和7年度 取組内容

・令和7年度「富良野市防災訓練」を実施して災害時における指揮・対処能力の向上及び地域住民の避難行動を訓練し、災害対処能力の向上をい図るとともに、地域住民に対して6回の出前講座を実施して風水害に関わる講話を実施するとともに、7校の小・中学校の生徒を対象とした一日防災学校を支援して防災意識の高揚を啓発

実施内容



実施内容



次年度においても、風水害に係る被害軽減の一環として、出前講座の実施及び一日防災学校を支援して防災講話等により防災意識の啓発を図るとともに、R7富良野市防災訓練を実施して災害対処能力の向上を図る。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防災士スキルアップ研修会、出前講座など、防災教育の取り組みを実施 ・防災行政無線デジタル化、防災ガイドブックの作成など、防災対策の取り組みを実施 	

実施主体：
上富良野町

■令和7年度 取組内容

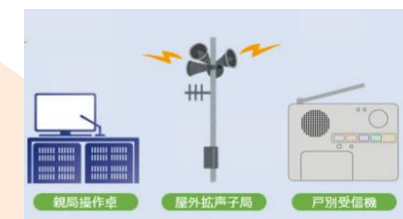
・R7年度においては、継続実施している防災士スキルアップ研修会や出前講座など、防災教育の取り組みを実施した。また、防災行政無線のデジタル化や防災ガイドブックの作成など、住民周知を目的とした防災対策の取り組みを実施した。

【防災教育の取り組み】

- 防災士スキルアップ研修会
講演と救急救命講習(7/27 参加者12名)
- 出前講座
住民会、学校、民間施設などに対する防災講座
(5回開催、延べ366名参加)

【防災対策の取り組み】

- 防災行政無線デジタル
R5から運用
親局、子局、戸別受信機
移動系無線(車載型、携帯型)
- 防災ガイドブックの作成
R6から配布開始



次年度以降も継続し、住民を対象とした防災教育の取り組み、防災行政無線や防災ガイドブックの整備を行う。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備
対策内容	水防活動等の迅速化、水害対策に活用出来るハードの整備	

実施主体：
中富良野町

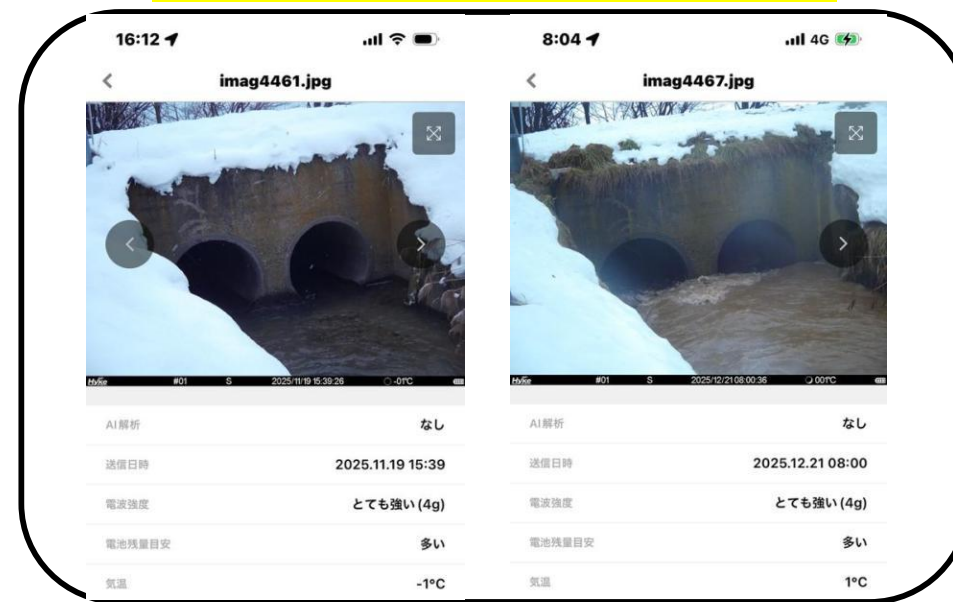
令和7年度 取組内容

町内の小中河川及び内水の氾濫発生状況を迅速に把握し、町内の河川パトロールを適切に実施するため、国土交通省のワンコイン浸水センサー実証実験に参加するとともに、河川監視用カメラの設置について検討中です。

ワンコイン浸水センサー実証実験



河川監視用カメラの設置



次年度に向けた予定

・実証実験への参加成果により、令和8年度以降の本格的な運用について検討します。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：南富良野町

	流域治水プロジェクト2.0	（概ね5年で実施する取組について）
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	
対策内容	河川防災ステーション(MIZBE STATION)の整備着手	

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、用地造成と並行して河川防災ステーション建屋の建設に着手、R8秋頃に予定する水防拠点機能の供用開始に向け、整備事業を推進中。

河川防災ステーション (M I Z B E S T A T I O N)



防災機関の活動拠点 「ステーション建屋」



- ・ 1階：事務室、展示ロビー、トイレ、シャワー室、防災資機材庫（国、町）
- ・ 2階：現地災害対策室（国）、水防団員待機室（町）、展望フロア、太陽光発電パネル
- ・ 屋上：非常用電源、自衛隊通信アンテナ架台（2組）、アンテナ張線アンカー（同）

R8年度内における水防拠点機能の供用開始に引き続き、「防災ステーション」～「かわまち」への整備を進め、平常時と災害発生時いずれの場面においても有効に機能し、活用し得る施設をの完成を目指す。

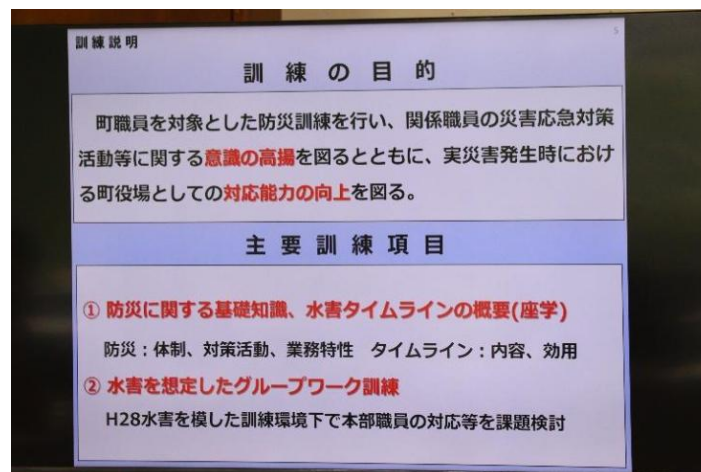
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：南富良野町

	流域治水プロジェクト2. 0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時における職員の教育・訓練に関する事項
対策内容	水害タイムラインへの習熟と運用を主眼とした職員参加防災訓練(災害対策本部訓練)	

■令和7年度 取組内容

毎年度、出水期前に実施中の職員訓練に関し、H28水害後に入庁の若手職員を対象として「水害タイムラインの概要教育」、係長級以上の職員を対象として「水害想定下のGpワーク訓練(タイムラインの活用を含む)」を行い、タイムラインに対する理解・再確認と職員の防災力の向上を図った。



次年度に向けた予定

職員を対象とした防災訓練は、災害対策本部の運営や応急対策活動の場を主体とし、訓練の主眼や訓練項目を各年度ごと様々に選定して行うことにより、職員各自の総合的な防災力の向上を目指している。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：南富良野町

	流域治水プロジェクト2. 0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	住民参加の地区防災訓練	

令和7年度 取組内容

5年で一巡することを基本として毎年計画的に実施している住民参加の地区防災訓練を行い、避難広報、避難行動、避難所内での訓練(講話、備蓄資器材取扱い、避難所運営ゲーム)を通じて住民の防災意識の高揚と地域の防災力の向上を図った。



次年度に向けた予定

住民参加の防災訓練については、コロナ禍の最中においても、蔓延防止の処置を講じつつ中止することなく継続実施してきた事業であり、その時々々の環境特性にマッチした内容を選定することで、住民の意識高揚効果が高いことから、引き続き創意を凝らして訓練の積み上げを推進する。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの児童・生徒への教育・訓練に関する事項
対策内容	小・中・高校における防災学習の実施	

実施主体：南富良野町

■令和7年度 取組内容

小・中・高校の児童・生徒を対象とした防災学習(一日防災学校を含む)に関し、「知る。考える。実践する。」をキーワードとし、それぞれの成長に合わせ段階的で一貫性がある体系的な教育を目指し、各校の担当教諭等と綿密な打ち合わせを行いつつ実施中。



次年度に向けた予定

引き続き、一貫性ある防災教育の実施を追求しながら事業を継続する。

札幌管区气象台
旭川地方气象台

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

実施主体：
札幌管区气象台
(空知川地域部会)

■令和7年度 取組内容

①平時における地域防災支援

防災講座や防災訓練での講演や自治体との懇談をとした防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動、防災訓練での気象シナリオ作成協力

- ・空知総合振興局及び関係する全2市（赤平市・芦別市）と、個別の懇談を実施した。
- ・空知地方防災担当者会議において市町防災担当職員等を対象とした「気象防災ワークショップ」を実施した。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・大雨時に、警報・注意報など、適時的確な防災気象情報の発信を行った。
- ・電話による自治体等からの問合せに対して、のべ2回の気象説明を実施した（12/31現在）。

札幌管区气象台の地域防災支援の取り組み

平時



担当チーム（あなたの町の予報官）が市町村と緊密な連携関係を構築

- ・講演やワークショップによる防災担当者や住民への啓発
- ・地域防災計画修正や防災訓練への協力



非常時

- ・ホットラインでの気象解説による市町村等の防災対応への助言
- ・市町村等へのJETT派遣での気象説明等による現地対応への協力



後日



- ・関係機関と災害時等の対応を振り返り、平時・非常時の業務へフィードバック

■次年度に向けた予定

①平時における地域防災支援

- ・令和8年出水期からの新たな防災気象情報について、防災関係機関、流域市町防災担当者や住民へ周知・啓発を行う。
- ・これまでの講話や訓練における防災展示等の取組に加え、流域市町防災担当者や住民を対象としたワークショップの実施等、「我が事感をもった」実践的な防災啓発をととして、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を一層推し進める。

②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・これまでの取組に加え、市町村等へのJETT（気象庁防災対応支援チーム）の迅速な派遣や、ホットラインでの詳細な気象解説による防災対応への助言。
- ・事後に関係機関と実施する「振り返り」による防災対応の取組の更なる改善。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

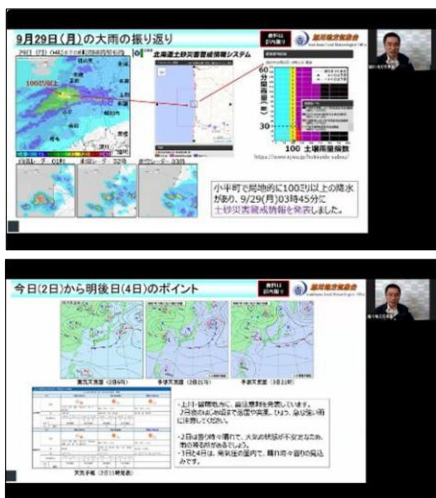
実施主体：
旭川地方气象台
(空知川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ 気象情報が自治体等の防災活動に資するよう、市町村防災担当者等を対象とした、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を継続実施した。

■ 防災連携TVによる気象解説(定時・臨時)

毎週木曜日の定期開催と警報級の可能性が高まったときに臨時開催。気象解説以外にも振り返りや参加機関含めた情報提供の共有。
(旭川・留萌各開発建設部、上川・留萌各振興局、气象台の共催)



■ 防災気象ワークショップの開催

气象台が日々発表する防災気象情報の利活用をより促進いただくことを目的とし、疑似的な市町村を想定し防災気象情報に対し各種避難情報の発令判断等をする。(土砂災害編や洪水害編、風水害編)

本日のスケジュール

時刻	所要時間	実施内容
9:30~9:50	20分	「防災気象情報について」
9:50~10:00	10分	お休みの時間
10:00~11:20	80分	現在の状況に対し、市町村の防災グループで、様々な避難情報・判断
11:20~11:30	10分	ご挨拶

【お要領】
【グループ検討】 2日 16:16

入手した気象情報等の内容を確認し、次の点について検討してください。

- ① 町として、洪水被害に耐えておられる状況はどの程度ですか？
→ 町では、どのような対策を講じていますか？
→ 避難情報(避難勧告)を町民に伝えるべきですか？
→ 今後、どのような準備を講じておられますか？
- ② 現在の状況に対して、市町村の防災グループで、様々な避難情報・判断
→ この様な状況で、どのようなことをお考えですか？

※上記2点を可視に説明することを前提に、理由を整理してください。

40分で
検討してください。



令和7年5月16日(金)
富良野市役所において、
洪水害編を実施。

次年度に向けた予定

- ・ 「上川・留萌管内防災連携TV」による平時・緊急時の解説や「市町村との顕著事例振り返り」等を実施する。
- ・ 市町村防災担当者等を対象とした、「気象防災ワークショップ」の取組みを引き続き実施する。

空知森林管理署
上川南部森林管理署

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：空知
森林管理署
(空知川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、炭山川治山工事(山腹工0.30ha)を実施し「流域治水」の推進を図った。

施行前



実施後



次年度に向けた予定 など
炭山川治山工事(山腹工0.21ha予定)

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	つる切による森林整備	

実施主体：空知
森林管理署
(空知川部会)

令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

つる切実施前



つる切実施後



次年度に向けた予定 など

次年度に向けて、引き続き森林整備事業を実施し森林の公益的機能の確保に努める

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2. 0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
 北海道森林管理局
 上川南部森林管理署
 （空知川地域部会）

■令和7年度 取組内容

・水源かん養及び土砂流出防止等森林の持つ公益的機能維持・増進に向けて、森林整備事業（下刈り、間伐等）を実施

実施後



実施後



次年度に向け引き続き、流域治水の取組とも連携し森林整備（間伐等）及び治山事業を実施予定。

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備	

実施主体：
森林整備センター
(空知川地域部会)

- 令和7年度 取組内容
- ・流域治水に資する下刈等の森林整備を実施。

下刈実施前



下刈実施後



次年度以降も下刈等の森林整備を計画的に実施

空知総合振興局 産業振興部

- ・整備課
- ・北部耕地出張所

上川総合振興局 産業振興部

- ・整備課
- ・南部耕地出張所

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	排水路の整備や田んぼダムの取り組み	

実施主体：空知総合振興局整備課

(千歳川外、夕張川上流、幾春別川外、雨竜川外、空知川) 共通

令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を実施

農業用水利施設(排水路)の整備



田んぼの整備



令和8年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を推進

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	水田の貯留機能向上	

実施主体：
上川総合振興局
産業振興部整備課・
南部耕地出張所
(空知川地域部会)

令和7年度 取組内容

- ・関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行った。

実施内容

「田んぼダム」の手引き

令和4年4月
農林水産省 農村振興局 整備部



施策の内容

概要

- ・「田んぼダム」とは、「田んぼダム」を実施する地域やその下流域の湛水被害リスクを低減するための取組です。
- ・水田の落水口に流出量を抑制するための堰板や小さな穴の開いた調整板などの器具を取り付けることで、水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水し、水路や河川の水位の上昇を抑えることで、溢れる水の量や範囲を抑制することができます。

【「田んぼダム」を実施】

【「田んぼダム」を未実施】

流域治水施策集より

次年度に向けた予定 など

- ・関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。

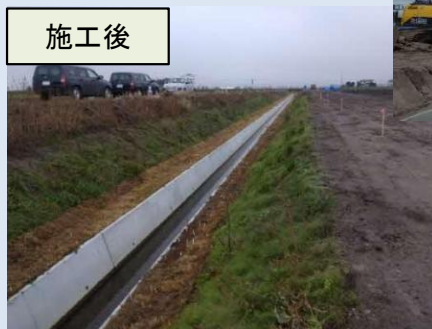
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業農村整備事業の実施	

実施主体：
 上川総合振興局
 産業振興部整備課・
 南部耕地出張所
 （空知川地域部会）

■令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを実施。



農業用水利施設(排水路)の整備



区画整理

- 令和8年度についても農業農村整備事業を継続実施し水田貯留の機能向上を図る。

空知総合振興局 産業振興部
・林務課
・森林室

上川総合振興局 産業振興部
・林務課
・南部森林室

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制のための森林整備	

実施主体：北海道空知
総合振興局産業振興部
林務課

(空知川地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ 芦別市、赤平市において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施

森林整備事業(間伐)【赤平市】



森林整備事業(植栽)【赤平市】



■次年度以降の取り組み(予定)

- ・ 要望のあった市町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施する予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
空知総合振興局森林室
(空知川地域部会)

■令和7年度 取組内容

- ・中の沢地区保安林総合改良工事(芦別市)を実施
- ・空知団地育林事業を芦別市、赤平市にて実施



溪間工(治山ダム等)の実施状況



植栽の実施状況



山腹工(法枠工等)の実施状況



間伐の実施状況

次年度に向けた予定 など

- ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施
- ・森林整備事業(間伐、植栽等)の計画的な実施

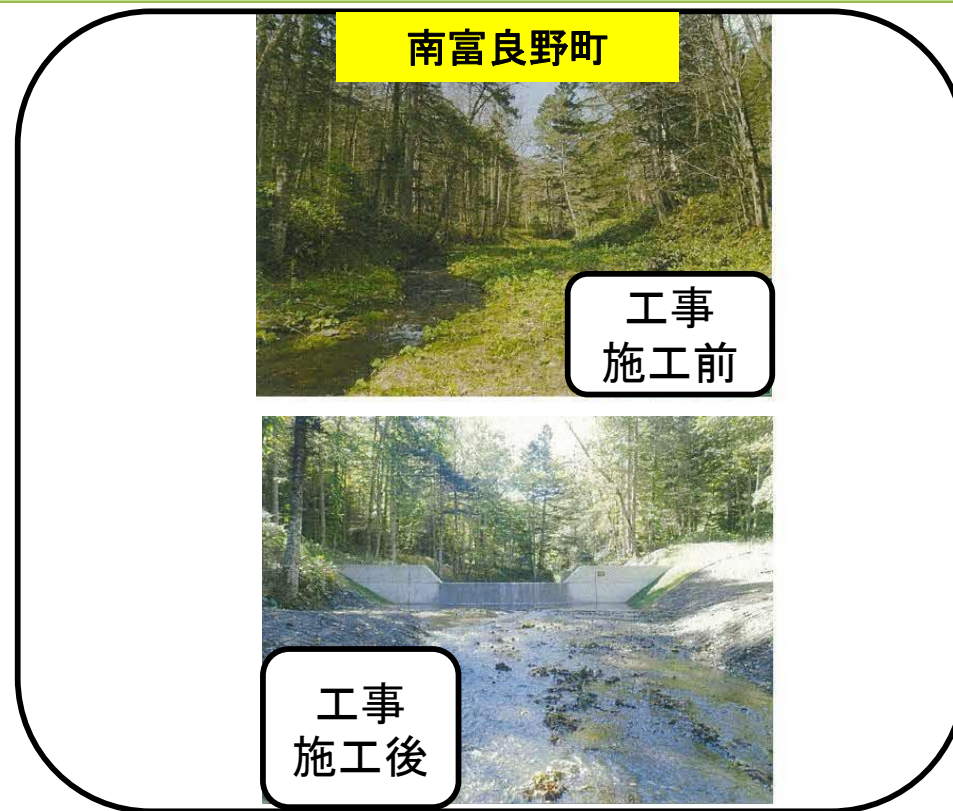
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
上川総合振興局林務課
(空知川地域部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、中富良野町・南富良野町で継続、富良野市では新規に治山事業を実施し「流域治水」の推進を図った。



次年度に向けた予定

次年度以降も引き続き治山ダムや山腹工、森林整備といった治山事業を実施予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林の水源涵養機能の維持・向上のための整備	

実施主体：
上川総合振興局林務課
(空知川地域部会)

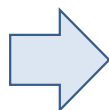
令和7年度 取組内容

- R7年度においては、富良野市・上富良野町・中富良野町・南富良野町の森林において、水源涵養機能の維持・向上のための間伐及び造林等の事業を実施し、「流域治水」の推進を図った。

間伐前の状況



間伐後の状況



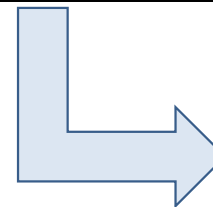
間伐(造材)実施状況



植栽前の状況



植栽後の状況



次年度に向けた予定
次年度以降も引き続き計画的に間伐及び造林等の森林整備を実施予定

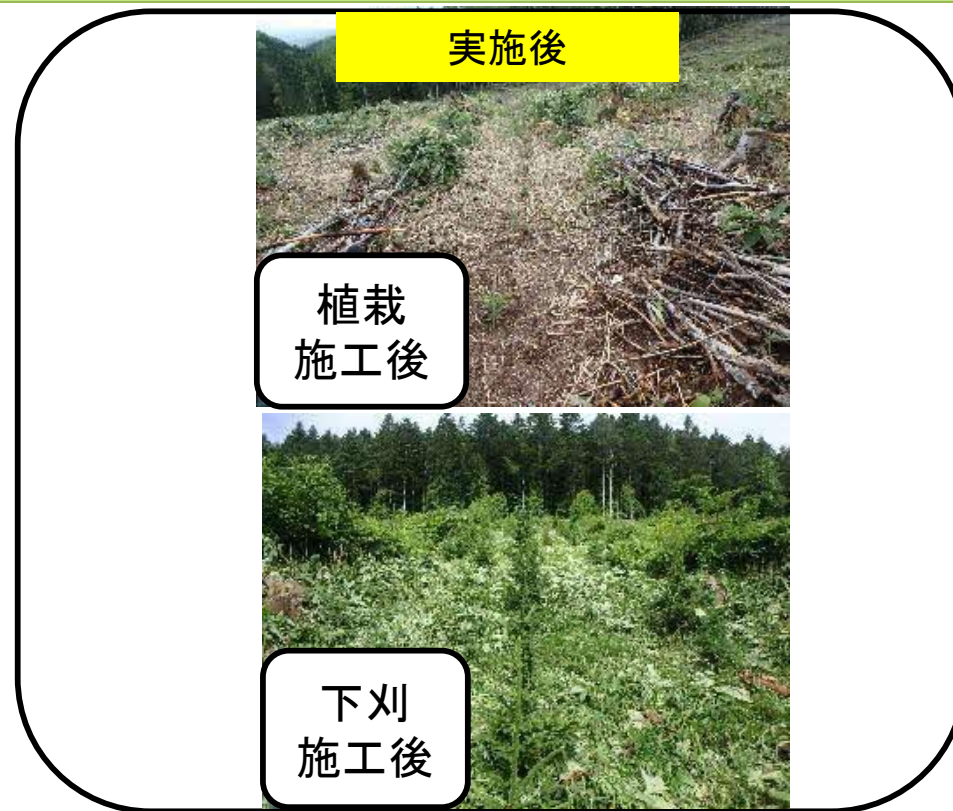
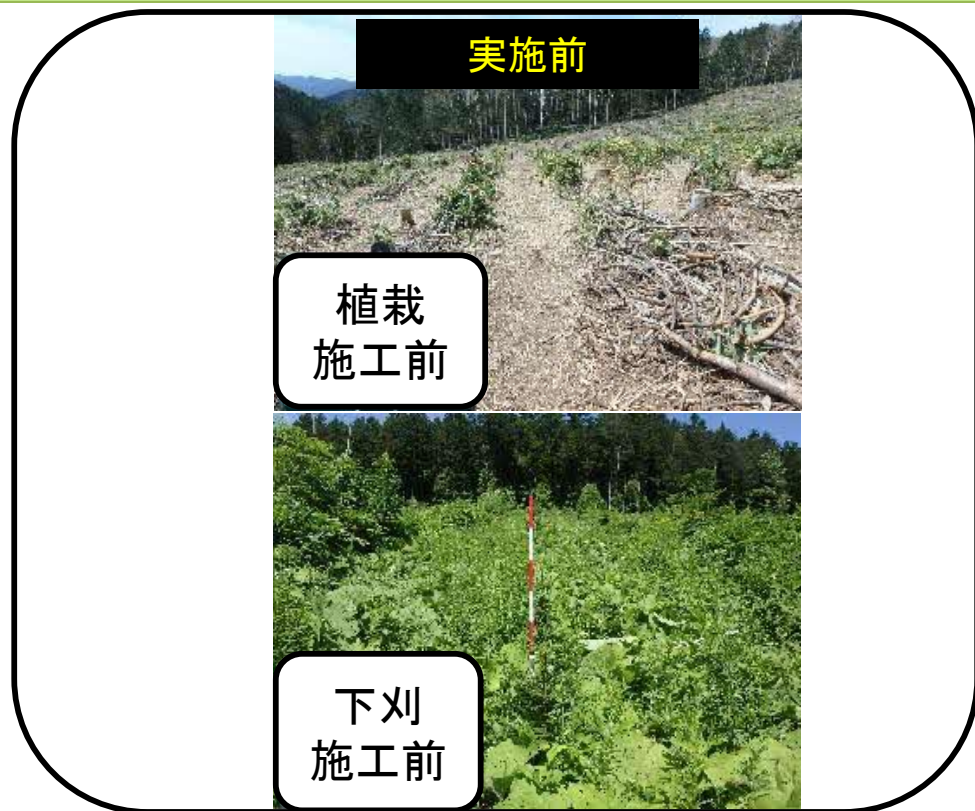
「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2. 0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：
上川南部森林室
(空知川地域部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、継続実施していた南富良野町にて、植栽・下刈等の森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。



次年度に向けた予定

次年度以降も引き続き計画的に植栽・除間伐・下刈等の森林整備を実施予定

空知総合振興局
札幌建設管理部

上川総合振興局
旭川建設管理部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

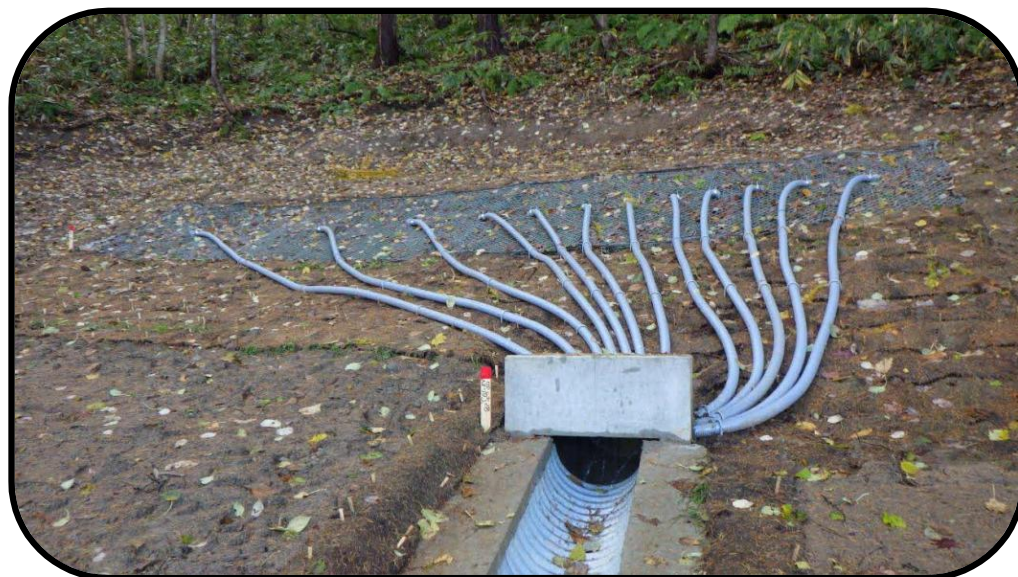
	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	地すべり対策施設整備、河道掘削及び河道内伐木を実施	

実施主体：
札幌建設管理部
(空知川地域部
会)

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、継続実施していた芦別本町地すべり対策施設整備、石山川の河道掘削を実施し「流域治水」の推進を図った。

芦別本町地すべり(実施後)



石山川(実施後)



次年度に向けた予定 など

- ・ 次年度以降も引き続き、継続実施している芦別本町地すべり対策施設整備等を実施する。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	河道掘削	

実施主体
：旭川建設管理部
(雨竜川外部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、継続実施していた雨竜川の河道掘削を実施し、「流域治水」の推進を図った。

実施前



実施後



雨竜川

次年度に向けた予定

- ・引き続き、雨竜川の河道掘削を進める。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	河道掘削、砂防施設整備	

実施主体
：旭川建設管理部
(空知川部会)

■令和7年度 取組内容

・ R7年度においては、継続実施していた富良野川及び支川の河道掘削、富良野川火山砂防施設の整備を実施し、「流域治水」の推進を図った。

実施前



実施後



富良野川

次年度に向けた予定

・引き続き、富良野川及び支川の河道掘削、富良野川火山砂防施設の整備を進める。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	1日防災学校の企画・支援／市町村が実施する訓練・研修・講習会等への支援	

実施主体：
上川総合振興局
(空知川部会)

■令和7年度 取組内容

- 1日防災学校では、ハザードマップ(リスクの空白地、分散避難、立ち退き避難・屋内安全確保等にも付言)や、逃げ遅れの原因となる心理状態(正常性バイアス)等について、クイズやグループ討議等により理解を促し、地域防災力の強化につなげる。
- 市町村が実施する災害対策本部訓練、避難所運営訓練の企画・実施を支援し、災害対応力の向上に寄与。

令和7年度に上川管内で実施した(予定含む)各種支援

日時	訓練名	対象者
7/6	和寒町防災研修会	住民
7/15	幌加内中学校 1日防災学校	中学生、教員
7/28	幌加内町災害対策懇談会	関係機関、住民
8/3	富良野市災害対策本部訓練	職員、関係機関、住民
8/28	東神楽小学校 1日防災学校	小学生
9/1	和寒中学校 1日防災学校	中学生、教員
9/5	比布中央学校 1日防災学校	小・中学生、保護者、関係機関
11/4	大雪山火山噴火防災訓練	職員、関係機関
11/5	中富良野町住民避難訓練	職員、関係機関、住民
2月中旬	十勝岳火山噴火総合防災訓練	職員、関係機関、住民



東神楽小学校 1日防災学校



富良野市災害対策本部訓練

次年度に向けた予定 など

- 地域の要望等を踏まえながら関係機関と共に取り組んで行く。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災に関係する各種研修会の開催	

実施主体：
上川総合振興局
(空知川部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ 平常時や災害時における防災知識を習得し、地域における防災活動のリーダーとして地域防災活動を推進する「北海道地域防災マスター」を育成するため、新規認定研修会や、マスター登録者の知識の向上等を目的としたフォローアップ研修を開催。
- ・ 道民の方々に避難所生活や避難所運営を自分事としてとらえ、地域の防災対策の課題をみつけやすくすることを目的に道が作成している、「避難所運営ゲーム(HUG)北海道2025(愛称:Doはぐ)」の実施に必要な講師を養成する研修会を開催。



Doはぐ講師養成研修会 in 美瑛2025



北海道地域防災マスター認定研修会
in 中富良野町



Doはぐセット

次年度に向けた予定 など

- ・ 地域の要望等を踏まえながら関係機関と共に取り組んで行く。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業用ダムの活用（貯水位運用）	

実施主体：旭建農業
(空知川部会)

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、農業用ダムの貯水位運用(貯水位低下)を行い、洪水時の貯留機能の役割を発揮し、「流域治水」の推進を図った。

実施前

日新ダム



【貯水位運用前】
5月下旬の状況

実施後

日新ダム



【貯水位運用】
8月1日から8月31日 EL=302.00m以下に貯水位低下

次年度に向けて引き続き、農業用ダムの貯水位運用を図る。

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業用ダムの活用（貯水位運用）	

実施主体：旭建農業
(空知川部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、農業用ダムの貯水位運用(貯水位低下)を行い、洪水時の貯留機能の役割を発揮し、「流域治水」の推進を図った。

実施前

東郷ダム



【貯水位運用前】
4月下旬の状況

実施後

東郷ダム



【貯水位運用】
8月6日から9月5日 EL=379.14m以下に貯水位低下

次年度に向けて引き続き、農業用ダムの貯水位運用を図る。

札幌開発建設部

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害を軽減させる取り組みの推進	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	小中学校への防災教育授業の実施による、防災意識の啓発等	

実施主体：
富良野市
空知川河川事務所

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、富良野市内小中学校への防災教育授業を実施した。

・防災教育授業の実施



【実施状況】

- ・空知川河川事務所による、水害対応に関する防災教育授業の実施

次年度以降の取組(予定) : 令和8年度においても、継続して協力・実施する予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害を軽減させる取組みの推進	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	連携市町村で開催された体験型防災イベントで講話を実施、防災意識の啓発等	

実施主体：芦別市

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、芦別市内で開催された体験型防災イベントへの協力を行った。

・講話の実施



【実施状況】

- ・空知川河川事務所による、水害に関する講話の実施

次年度以降の取組(予定)：令和8年度においても、継続して協力・実施する予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	流下能力阻害軽減のため河岸の樹木伐開・河道掘削の実施	

実施主体：
富良野市
空知川河川事務所

■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、市街地への外水氾濫を抑制するため、河岸に繁茂した樹木の伐開・河道掘削を実施した。

◎樹木伐開

◎河道掘削



次年度以降の取組(予定) : 令和8年度においても、継続して協力・実施する予定

「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業用ダムの活用（貯水位運用）	

実施主体：札建農業
(空知川地域部会)

令和7年度 取組内容

- R7年度においては、農業用ダムの貯水位運用(貯水位低下)を行い、洪水時の貯留機能の役割を發揮し、「流域治水」の推進を図った。

実施前

エルムダム



【貯水位運用前】
6月上旬の状況

実施後

エルムダム



【貯水位運用】
8月1日から8月31日 EL=422.83m以下に貯水位低下

次年度に向けて引き続き、農業用ダムの貯水位運用を図る。